

令和3年度(2021年度)用

中学校社会科用

---

---

# 「新しい社会 歴史」 年間指導計画作成資料

---

---

※単元ごとの配当時数, 学習目標, 評価規準などは, 今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

# 歴史的分野指導計画表・評価規準

本資料で1時間ごとに示している評価規準の例は、学習改善につなげるための形成的な評価の一例であり、必ずしも1時間ごとに事実的な知識の獲得を評価する趣旨ではありません。

【評価の観点の略称】知識・技能＝知技，思考・判断・表現＝思判表，主体的に学習に取り組む態度＝態度  
 【評価規準の例】○＝「評定に用いる評価」，●＝「学習改善につなげる評価」

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
1	<b>■持続可能な社会の実現に向けて 歴史に学ぶ</b> (巻頭3～p.1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的分野の学習を始めるにあたって、歴史を学習する意義について考える。</li> <li>地理的分野や公民的分野との関係について理解し、教科書の目次などを基に、これから学習する歴史的分野の学習の見通しを持つ。</li> <li>持続可能なよりよい社会の実現に向けて歴史を生かしていこうとする態度を身に付けるきっかけとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史的分野の学習内容のあらましと学習のねらい、地理的分野や公民的分野との関係について理解している。(知技)</li> <li>●歴史を学習する意味について考え、歴史学習を通して過去から受け継がれた経験などを学ぶだけでなく、持続可能な社会の実現に生かそうとし、これからの歴史学習への見通しを持つようとしている。(態度)</li> </ul>

## 第1章 歴史へのとびら (配当6時間)

◆評価規準の例 (章全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*	
<ul style="list-style-type: none"> <li>年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させる。</li> <li>資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。</li> <li>具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。</li> <li>時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現させる。</li> <li>比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> <li>自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	○年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ○資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 ○具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	A (1)	
	<b>思考・判断・表現</b>		
	○時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 ○比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。		
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>		
○私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			

歴史－2

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
<b>1節 歴史をとらえる見方・考え方</b>			
<p>2 3 4 5</p>	<p>■導入の活動(歴史の流れ) (p.6～7) 1 時期や年代の表し方 (p.8～9) 年表を読み取ろう 2 歴史の流れのとらえ方 (p.10～11) 年表にまとめよう 3 時代の特色のとらえ方 (p.12～13)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。</li> <li>• 資料から歴史に関わる情報を読み取り、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。</li> <li>• 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し、表現する。</li> <li>• 歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解している。(知技)</li> <li>○資料から歴史に関わる情報を読み取り、年表などにまとめることができる。(知技)</li> <li>○時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などを、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>○歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
<b>2節 身近な地域の歴史</b>			
<p>6 7</p>	<p>1 テーマを決めて調査・考察しよう (p.14～15) テーマの設定 調査 考察 2 まとめと発表をしよう (p.16～17) まとめ 発表 ふり取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。</li> <li>• 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>• 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な手段で地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などに適切にまとめている。(知技)</li> <li>○比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表)</li> <li>○自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

地域の歴史を調べよう (配当6時間)

◆評価規準の例 (各参考事例とも6時間配当)

\*は学習指導要領との関連

主な学習内容	学習目標	評価規準の例	*
<p><b>◆大陸への玄関口・福岡</b> (p.56～57)</p> <p>1 学校周辺の石碑から 2 博物館や遺跡での調査 3 年表を使った共有と考察 4 ポスターセッションでの発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近な地域に残る遺跡や博物館を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付ける。</li> <li>• 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現する。</li> <li>• 身近な地域に残る遺跡や博物館から、地域の歴史に対する関心を高め、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査して収集した課題に関連する情報を、年表などに適切にまとめている。(知技)</li> <li>○ 身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。(思判表)</li> <li>○ 身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>	<p>A (2)</p>
<p><b>◆戦国時代の城下町・一乗谷</b> (p.92～93)</p> <p>1 400年を経てよみがえった城下町 2 一乗谷朝倉氏遺跡資料館の見学 3 一乗谷朝倉氏遺跡での現地調査 4 城下町の工夫についての考察 5 郷土新聞の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現地調査や資料館の見学・調査を通して、身近な地域の歴史に関する情報を収集し、整理する技能を身に付ける。</li> <li>• 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現する。</li> <li>• 身近な地域に残る史跡に関心をもち、現地調査や資料館での調査を通して、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現地調査や資料館の調査から、課題の解決に関連する情報を収集し、適切に整理している。(知技)</li> <li>○ 身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。(思判表)</li> <li>○ 身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>	
<p><b>◆会津藩の政治と産業</b> (p.142～143)</p> <p>1 若松城にて 2 福島県立博物館での見学 3 漆器店での聞き取り調査 4 調査内容の共有と意見交換 5 レポートの作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 博物館や地元の人への聞き取りを行う際に、追究する課題に対する見通しを持って調査を行い、収集した情報を整理する技能を身に付ける。</li> <li>• 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現する。</li> <li>• 身近な地域の歴史に関心をもち、博物館での調査や地元の人への聞き取り調査を通して、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 博物館や地元の人々への聞き取りから、課題の解決に関連する情報を収集し、適切に整理している。(知技)</li> <li>○ 身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。(思判表)</li> <li>○ 身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>	
<p><b>◆多文化共生都市・神戸</b> (p.200～201)</p> <p>1 外国文化が息づく港町、神戸 2 神戸市内のフィールドワーク 3 表を使った共有と考察 4 イラストマップを使った発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近な地域に残る文化財を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付ける。</li> <li>• 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化財の調査などの方法で地域の歴史を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付けている。(知技)</li> <li>○ 身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。(思判表)</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域に残る文化財に関心を持ち、収集した情報をまとめて、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
<p><b>◆東京大空襲の記憶を伝える</b> (p.244～245)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>隅田川のほとりで</li> <li>すみだ郷土文化資料館での調査</li> <li>戦災経験者からの聞き取り調査</li> <li>自分たちにできることの構想</li> <li>インターネットを使った発信</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料館、聞き取りなどの方法で地域の歴史を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付ける。</li> <li>身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、歴史の反省を踏まえて今後の自分たちにできることを考察、構想し、表現する。</li> <li>身近な地域の歴史に関心を持ち、整理した情報から、自ら課題を設定し、主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料館、聞き取りなどの方法で地域の歴史を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付けている。(知技)</li> <li>○身近な地域の歴史の特徴を多面的・多角的に考察し、今後の自分たちに何ができるかを構想し、表現している。(思判表)</li> <li>○身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、よりよい社会を創ろうと主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
<p><b>◆広島復興と平和への思い</b> (p.276～277)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>旧日本銀行広島支店にて</li> <li>広島平和記念資料館での調査</li> <li>シュモアハウスでの調査</li> <li>将来の広島の構想</li> <li>調査・考察した内容の発表と提案</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域に残る文化財や資料館を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付ける。</li> <li>身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、よりよい社会を創っていくためにどうすべきかを考察、構想し、表現する。</li> <li>プレゼンテーションを作成する過程を通して、地域の歴史的特徴を捉え、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な地域の歴史的特徴を基に、今後のよりよい地域の在り方を構想し、表現している。(思判表)</li> <li>○身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、よりよい社会の実現を視野に、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

**第2章 古代までの日本 (配当19時間)**

◆評価規準の例 (章全体)

指導目標	知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。</li> <li>日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。</li> <li>律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</li> <li>○日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。</li> <li>○律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 仏教の伝来とその影響, 仮名文字の成立などを基に, 国際的な要素をもった文化が栄え, それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。</li> <li>• 古代文明や宗教が起こった場所や環境, 農耕の広まりや生産技術の発展, 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 世界の古代文明や宗教のおこり, 日本列島における国家形成, 律令国家の形成, 古代の文化と東アジアとの関わりについて, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>• 古代までの日本を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>• 古代までの日本について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仏教の伝来とその影響, 仮名文字の成立などを基に, 国際的な要素をもった文化が栄え, それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</li> </ul>
	<b>思考・判断・表現</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古代文明や宗教が起こった場所や環境, 農耕の広まりや生産技術の発展, 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 世界の古代文明や宗教のおこり, 日本列島における国家形成, 律令国家の形成, 古代の文化と東アジアとの関わりについて, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> <li>○ 古代までの日本を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> </ul>
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古代までの日本について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</li> </ul>

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
8	<b>■導入の活動 平城京が造られた背景にせまろう</b> (p.18~19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年表にある事柄や人物, 文化財のイラストから, 小学校で学習した内容を振り返る。</li> <li>• 写真や年表, 絵画などの資料から, 古代の時代のイメージを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料の読み解きや比較から, この時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。(思判表)</li> <li>● 古代の日本ではどのように国家が形成されたのかという探究課題に対して, 見通しを持って学習に取り組もうとしている。(態度)</li> </ul>

**1節 世界の古代文明と宗教のおこり (配当5時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世界の古代文明や宗教のおこりを基に, 世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。</li> <li>• 古代文明や宗教が起こった場所や環境, 農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 世界の古代文明や宗教のおこりについて, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>• 世界の古代文明や宗教のおこりについて, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の古代文明や宗教のおこりを基に, 世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</li> </ul>	B (1)
	<b>思考・判断・表現</b>	A (ア)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古代文明や宗教が起こった場所や環境, 農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 世界の古代文明や宗教のおこりについて, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> </ul>	B (1)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	I (ア)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界の古代文明や宗教のおこりについて, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</li> </ul>	

歴史－6

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
9	<b>1 人類の出現と進化</b> (p.20～21) 人類の出現 旧石器時代 新石器時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>人類が進化してきた過程や、人類の特徴を理解する。</li> <li>土器や石器の発明によって、人々の生活が変化したことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人類の進化の過程や、人々の生活の変化を理解している。(知技)</li> </ul>
10	<b>2 古代文明のおこりと発展</b> (p.22～23) 文明のおこり エジプト文明 メソポタミア文明 インダス文明	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所などの共通点に着目して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
11	<b>3 中国文明の発展</b> (p.24～25) 中国文明の発生 秦の中国の統一 漢の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の古代文明の特徴を、様々な資料を通して理解する。</li> <li>中国の古代文明が日本に与えた影響について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中国の古代文明について、殷から漢までの大きな流れを理解している。(知技)</li> <li>●中国から日本へ伝わった文物の特徴を理解している。(知技)</li> </ul>
12	<b>4 ギリシャ・ローマの文明</b> (p.26～27) ギリシャの都市国家 ヘレニズム ローマ帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギリシャ・ローマの文化と政治や社会の仕組みの特色を理解する。</li> <li>ギリシャ・ローマ文明の特徴について、現在のヨーロッパ文化との関係に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●写真資料などを通して、ヘレニズムの文化がインド・中国・日本の美術に影響を与えたことを理解している。(知技)</li> <li>●ギリシャ・ローマ文明の特徴について、現代ヨーロッパとの共通点に着目して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
13	<b>5 宗教のおこりと三大宗教</b> (p.28～29) 宗教のおこり 仏教のおこり キリスト教のおこり イスラム教のおこり	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代の宗教のおこりについて、その概略を理解する。</li> <li>宗教がおこった地域の特徴について位置や場所に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仏教、キリスト教、イスラム教の特徴を理解している。(知技)</li> <li>●三大宗教が成立した地域が、西アジアやインドなど、古代文明が発展した地域と重なっていることを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<b>■探究のステップ</b> (p.59)	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代文明や宗教のおこりを理解し、場所などと関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○古代文明や宗教のおこりの概略を理解している。(知技)</li> <li>○古代文明や宗教のおこりについて、場所などと関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●世界の古代文明や宗教のおこりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

2節 日本列島の誕生と大陸との交流 (配当3時間)

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰, 大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に, 東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。</li> <li>農耕の広まりや生産技術の発展, 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 日本列島における国家形成について, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>日本列島における国家形成について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰, 大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に, 東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。</li> </ul>	B (1) ア (イ)
	<b>思考・判断・表現</b>	B (1) イ (ア)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>農耕の広まりや生産技術の発展, 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 日本列島における国家形成について, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> </ul>	
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島における国家形成について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</li> </ul>

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
14	<b>1 旧石器時代と縄文時代の暮らし</b> (p.30~31) 旧石器時代の暮らし 縄文時代の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島における旧石器時代の人々の生活の様子を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な資料から, 日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特徴について理解している。(知技)</li> </ul>
15	<b>2 弥生時代の暮らしと邪馬台国</b> (p.32~33) 弥生時代の始まり 国々の成立 邪馬台国	<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生時代の人々の生活の様子と, 日本における国家形成の過程を理解する。</li> <li>弥生時代に日本の国家が形成されていく過程について, 東アジアとの関わりに着目して考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生時代の人々の生活の様子と, 日本における国家形成の過程を理解している。(知技)</li> <li>中国の文献などから, 国家が形成されていく過程について大陸の影響に着目して考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
16	<b>3 大王の時代</b> (p.34~35) 大和政権の発展 古墳時代の文化 中国・朝鮮半島との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>大和地方を中心に国内が統一されたことを理解する。</li> <li>大和政権の統一に関して, 朝鮮半島の影響に着目して考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大和政権の国内統一の過程を, 古墳の分布や鉄剣などの資料を通して理解している。(知技)</li> <li>大和政権の国内統一の動きが朝鮮半島との交流の影響を受けていることに着目して考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
	<b>■探究のステップ</b> (p.59)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島における国家の誕生の経緯を理解し, 大陸の影響と関連付けて考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島で国家が誕生した経緯を理解している。(知技)</li> <li>日本列島における国家の誕生について, 大陸の影響と関連付けて考察し, 表現している。(思判表)</li> <li>日本列島における国家形成について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。(態度)</li> </ul>



3節 古代国家の歩みと東アジア世界 (配当10時間)

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*	
<ul style="list-style-type: none"> <li>律令国家の確立に至るまでの過程, 撰関政治などを基に, 東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ, その後, 天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。</li> <li>仏教の伝来とその影響, 仮名文字の成立などを基に, 国際的な要素をもった文化が栄え, それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。</li> <li>東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 律令国家の形成, 古代の文化と東アジアとの関わりについて, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>律令国家の形成, 古代の文化と東アジアとの関わりについて, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○律令国家の確立に至るまでの過程, 撰関政治などを基に, 東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ, その後, 天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</li> <li>○仏教の伝来とその影響, 仮名文字の成立などを基に, 国際的な要素をもった文化が栄え, それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</li> </ul>	B (1) ア (ウ) (エ)	
	<b>思考・判断・表現</b>		B (1) イ (ア)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 律令国家の形成, 古代の文化と東アジアとの関わりについて, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> </ul>		
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●律令国家の形成, 古代の文化と東アジアとの関わりについて, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</li> </ul>	

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
17	<b>1 聖徳太子の政治改革</b> (p.36~37) 朝鮮半島の動乱と隋の中国統一 聖徳太子と蘇我氏 飛鳥文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●聖徳太子や蘇我氏が目指した政治や, この時代の文化の特色を理解する。</li> <li>●聖徳太子などの政治の特色について, 大陸との関係に着目して考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●聖徳太子や蘇我氏が行った政治の特色を理解している。(知技)</li> <li>●聖徳太子などの政治の特色について, 隋との関係に着目して, その影響を受けたことを考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
18	<b>2 東アジアの緊張と律令国家への歩み</b> (p.38~39) 唐の成立と東アジアの緊張 大化の改新 白村江の戦いと壬申の乱	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を理解する。</li> <li>●7世紀の国内の情勢を, 東アジアの動きに着目して考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大化の改新と, その後の律令国家への展開を理解している。(知技)</li> <li>●律令国家を目指す国内の情勢を, 中国や朝鮮半島の動きに関連付けて考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
19	<b>3 律令国家の成立と平城京</b> (p.40~41) 大宝律令 平城京 地方の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●律令制度の内容を基に, 古代国家の仕組みを理解する。</li> <li>●古代国家の仕組みについて, 中国の影響に着目して考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●律令制度による古代国家の仕組みを理解している。(知技)</li> <li>●律令による古代国家の仕組みについて, 中国の影響と関連付けて考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
20	<b>4 奈良時代の人々の暮らし</b> (p.42~43) 人々の身分と負担 土地の私有と荘園	<ul style="list-style-type: none"> <li>●奈良時代の人々の生活を理解する。</li> <li>●奈良時代の人々の生活について, 税や土地制度に着目して考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●奈良時代の人々が様々な税を負担していたことを理解している。(知技)</li> <li>●奈良時代の人々の生活について, 税や土地制度の変化と関連付けて考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>

21	<p><b>5 天平文化</b> (p.44～45)</p> <p>天平文化 奈良時代の仏教 歴史書と万葉集</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な文化財を通して、天平文化の特色を理解する。</li> <li>天平文化の特色について、遣唐使の活動に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●天平文化が国際色豊かな文化であることを理解している。(知技)</li> <li>●天平文化の特色について、遣唐使により大陸からの文物が多くもたらされたことと関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
22	<p><b>6 平安京と律令国家の変化</b> (p.46～47)</p> <p>平安京 律令国家の変化 新しい仏教の動き 東アジアの変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平安遷都によって、政治や社会にどのような変化があったかを理解する。</li> <li>平安時代初めの政治について、奈良時代までの政治と比較して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●桓武天皇の行った政治の目的、内容などについて理解している。(知技)</li> <li>●平安時代初めの政治について、支配領域の拡大や仏教の広まりなどと関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
23	<p><b>7 摂関政治の時代</b> (p.48～49)</p> <p>藤原氏と摂関政治 新しい税と国司の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂関政治や地方政治の変化から、平安時代の政治の特色を理解する。</li> <li>平安時代の政治の特色について、これまでの政治の在り方との違いに着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●10世紀に、摂関政治や土地制度など政治の在り方が変化したことを理解している。(知技)</li> <li>●10世紀の政治の在り方を、それまでの変化に着目して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
24	<p><b>8 国風文化</b> (p.50～51)</p> <p>唐の滅亡と宋の商人 国風文化 浄土信仰</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国風化した文化の特色を理解する。</li> <li>国風文化の形成について、大陸との関係に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仮名文字の成立や文学作品などから、日本独特の国風文化の特色を理解している。(知技)</li> <li>●国風文化の形成について、大陸の影響に着目して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<p><b>■探究のステップ</b> (p.59)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が律令国家を建設した理由を理解し、大陸の影響と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本が律令国家を建設した理由を理解している。(知技)</li> <li>○日本が律令国家を建設した理由について、大陸の影響と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
-	<p><b>[資料から発見！]絵巻物から古代の人々の姿をとらえよう</b> (p.52～53)</p> <p>絵巻物とは？ 「伴大納言絵巻」とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵巻物の特徴を理解し、絵巻物から人々の姿を適切に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●絵巻物の表現方法や読み取り方を理解し、情報を読み取っている。(知技)</li> </ul>
-	<p><b>[もっと歴史]現代に生きる神話</b> (p.54～55)</p> <p>「記紀神話」の成立 「記紀神話」の展開 日本の神話と世界の神話 島根県と神話 宮崎県と神話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地の神話について、神楽をはじめとした各地の伝統芸能との関係に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の神話は各地の様々な伝統芸能の中に生きていることを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

25 26	<p><b>■基礎・基本のまとめ 古代までの学習をふり返ろう</b> (p.58～59)</p> <p><b>■まとめの活動 古代日本のキーパーソンはだれだろう</b> (p.60～61)</p>	<p>• 古代日本のキーパーソンは誰かを考える作業を通して、古代の日本を大観し、時代の特色を捉える。</p>	<p>○ 古代の日本ではどのように国家が形成されたかを理解している。(知技)</p> <p>○ 古代の日本でどのように国家形成されたかを、東アジアとの関わりと関連付けて考察し、表現している。(思判表)</p> <p>○ 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) *B(1)イ(イ)</p> <p>○ 古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</p>
----------	--	--	--

**第3章 中世の日本 (配当15時間)**

◆評価規準の例 (章全体)

指導目標	知識・技能	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 鎌倉幕府の成立、元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。</li> <li>• 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。</li> <li>• 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。</li> <li>• 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>• 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>• 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鎌倉幕府の成立、元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</li> <li>○ 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</li> <li>○ 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</li> </ul>	
	<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>○ 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
27	<b>■導入の活動 武士の館について探ろう</b> (p.62～63)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年表にある事柄や人物、文化財のイラストから、小学校で学習した内容を振り返る。</li> <li>写真や年表、絵画などの資料から、中世のイメージをもち、前の時代との違いを予想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表)</li> <li>中世ではどのような勢力の成長や対立が起こったかという探究課題に対して、学習の見通しを持って主体的に取り組もうとしている。(態度)</li> </ul>

**1節 武士の政権の成立 (配当5時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉幕府の成立などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。</li> <li>武士の政治への進出と展開、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>武家政治の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	○鎌倉幕府の成立などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解している。	B (2) ア (ア)
	<b>思考・判断・表現</b>	
	○武士の政治への進出と展開、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	B (2) イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	●武家政治の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
28	<b>1 武士の成長</b> (p.64～65) 武士の登場 武士団の形成 荘園・公領での武士の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>武士が次第に勢力を広げたことを、戦乱に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武士の成長の過程を、導入資料などから読み取っている。(知技)</li> <li>武士が次第に勢力を広げたことを、地方や都で起きた戦乱と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
29	<b>2 院政から武士の政権へ</b> (p.66～67) 院政と武士 平清盛の政権	<ul style="list-style-type: none"> <li>平氏の政治の特色を、摂関政治と比較して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>源義経などの人物を中心に、源平の争いの経過について理解している。(知技)</li> <li>平氏の政治の特色を、摂関政治との共通点に着目して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
30	<b>3 鎌倉幕府の成立と執権政治</b> (p.68～69) 鎌倉幕府の始まり 執権政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉幕府の特色について、主従制度や承久の乱に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉幕府の特色について、将軍と御家人の関係や幕府と朝廷の関係に関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>文字資料から、幕府と朝廷との勢力関係、将軍と御家人との関係を読み取っている。(知技)</li> </ul>

31	<b>4 武士と民衆の生活</b> (p.70～71) 地頭の支配 武士の生活 農業と商業の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭や産業に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達と、それに伴う生活の向上について理解している。(知技)</li> <li>●鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭による荘園支配や、定期市などの産業の発達と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
32	<b>5 鎌倉時代の文化と宗教</b> (p.72～73) 鎌倉文化 鎌倉仏教	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉時代の文化や宗教の特色について、これまでの時代との違いに着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鎌倉時代の文化や宗教の特色について、文化の担い手の変化に関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<b>■探究のステップ</b> (p.95)	<ul style="list-style-type: none"> <li>武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由を理解し、戦乱と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由を理解している。(知技)</li> <li>○武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由について、戦乱と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●武家政治の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

**2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開 (配当9時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*	
<ul style="list-style-type: none"> <li>元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。</li> <li>南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。</li> <li>農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。</li> <li>武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</li> <li>○南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</li> <li>○農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</li> </ul>	B (2) ア (ア) (イ) (ウ)	
	<b>思考・判断・表現</b>	イ (ア)	
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
33	<b>1 モンゴル帝国とユーラシア世界</b> (p.74～75) 遊牧民の生活 モンゴル帝国の拡大 ユーラシア世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>モンゴル帝国がユーラシア世界に及ぼした影響を、大陸内の結び付きに着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モンゴル帝国がユーラシア世界に及ぼした影響を、大陸の一体化とその影響に関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
34	<b>2 モンゴルの襲来</b> (p.76～77) 二度の襲来 鎌倉幕府の滅亡	<ul style="list-style-type: none"> <li>モンゴルの襲来と日本への影響について、主従関係に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モンゴルの襲来と日本への影響について、御家人の動きと関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
35	<b>3 南北朝の動乱と室町幕府</b> (p.78～79) 南北二つの朝廷 守護大名と地方の動き 室町幕府の支配の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。</li> <li>室町幕府の特徴を鎌倉幕府の仕組みと比較して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守護が新たな権限を与えられて守護大名となり、後の政治に影響を及ぼしたことを理解している。(知技)</li> <li>●建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や、動乱がもたらした武家社会の変化を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
36	<b>4 東アジアとの交流</b> (p.80～81) 日明貿易 朝鮮との貿易 琉球王国の成立 アイヌ民族の交易活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>東アジアの人々の交流や結び付きを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日明貿易の様子、中継貿易で栄えた琉球や蝦夷地の動きなど、東アジアの人々との交流や結び付きを理解している。(知技)</li> </ul>
37	<b>5 産業の発達と民衆の生活</b> (p.82～83) 農業の改良と手工業の発展 商業の発展と都市の成長 村の自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や産業の発達に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や商業・手工業の発達や土一揆と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
38	<b>6 応仁の乱と戦国大名</b> (p.84～85) 応仁の乱 社会の変化と戦国大名の登場 戦国大名の支配の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>応仁の乱による社会の変化について、戦国大名の支配に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応仁の乱による社会の変化について、分国法や城下町などを、これまでの支配の在り方との違いに関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
39	<b>7 室町文化とその広がり</b> (p.86～87) 室町文化 民衆への文化の広がり	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。</li> <li>この時代に生まれた文化で、現代に受け継がれているものに関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色を捉えている。(知技)</li> </ul>
	<b>■探究のステップ</b> (p.95)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中世の日本に戦乱が多かった理由を理解し、産業の発達と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中世の日本に戦乱が多かった理由を理解している。(知技)</li> <li>○中世の日本に戦乱が多かった理由を、産業の発達と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

-	<p><b>[資料から発見！]屏風絵から中世の人々の生活をとらえよう</b> (p.88～89)</p> <p>屏風絵とは？ 「洛中洛外図屏風」とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 屏風絵の特徴を理解し、屏風絵から人々の生活を適切に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 屏風絵の表現方法や読み取り方を理解し、情報を読み取っている。(知技)</li> </ul>
-	<p><b>[もっと歴史]東アジア世界の国々の交流と琉球文化</b> (p.90～91)</p> <p>朝貢って何だろう？ 東アジア世界の形成 明と室町幕府 東アジアを行き来する琉球の船 琉球の文化とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中国の朝貢体制を通して、東アジア全体で交流が生まれたことを理解する。</li> <li>• 朝貢体制の中で発展した、琉球王国の成立と繁栄の様子について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国の朝貢体制によって、「東アジア世界」という大きなまとまりが生まれたことを理解している。(知技)</li> <li>● 琉球王国の繁栄の理由を、琉球が行った中継貿易と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
40 41	<p><b>■基礎・基本のまとめ 中世の学習をふり返ろう</b> (p.94～95)</p> <p><b>■まとめの活動 古代との比較から中世の特色を探ろう</b> (p.96～97)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 古代との比較を通して、中世の日本を大観し、時代の特色を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中世の日本ではどのような勢力の成長や対立が起こったかを理解している。(知技)</li> <li>○ 中世の日本ではどのような勢力の成長や対立が起こったかについて、東アジアや民衆と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>○ 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) *B(2)イ(イ)</li> <li>○ 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

**第4章 近世の日本 (配当23時間)**

◆評価規準の例 (章全体)

指導目標	知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。</li> <li>• 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。</li> <li>• 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。</li> <li>• 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。</li> <li>○ 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。</li> <li>○ 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。</li> <li>○ 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的，産業の発達と文化の担い手の変化，社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，世界の動きと統一事業，江戸幕府の成立と対外関係，産業の発達と町人文化，幕府の政治の展開について，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。</li> <li>• 近世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。</li> <li>• 近世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<b>思考・判断・表現</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的，産業の発達と文化の担い手の変化，社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，世界の動きと統一事業，江戸幕府の成立と対外関係，産業の発達と町人文化，幕府の政治の展開について，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</li> <li>○ 近世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。</li> </ul>
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</li> </ul>

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
42	<b>■導入の活動 近世の人々の様子をとらえよう</b> (p. 98～99)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから，小学校で学習した内容を振り返る。</li> <li>• 写真や年表，絵画などの資料から，近世のイメージを持ち，前の時代との違いを予想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。(思判表)</li> <li>● 近世ではどのようにして社会が安定したかという探究課題に対して，見通しを持って学習に取り組もうとしている。(態度)</li> </ul>

**1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 (配当8時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎が作られたことを理解させる。</li> <li>• 交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，世界の動きと統一事業について，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。</li> <li>• 世界の動きと統一事業について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎が作られたことを理解している。</li> </ul>	B (3) ア (ア)
	<b>思考・判断・表現</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，世界の動きと統一事業について，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</li> </ul>	B (3) イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界の動きと統一事業について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</li> </ul>	



◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
43	<b>1 中世ヨーロッパとイスラム世界</b> (p.100～101) 中世のヨーロッパ イスラム世界の拡大 十字軍	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代のローマ帝国の分裂とそれに伴うキリスト教会の分裂を理解する。</li> <li>資料から、イスラム世界の広がりと文化の先進性を理解する。</li> <li>十字軍の動きを通して、イスラム文化がヨーロッパに伝わったことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中世のヨーロッパ世界と同時期のイスラムの世界の成立と、両者の関係を理解している。(知技)</li> </ul>
44	<b>2 ルネサンスと宗教改革</b> (p.102～103) ルネサンス 宗教改革 近世への移り変わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルネサンスと宗教改革を通して、ヨーロッパ世界の変化の様子を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ルネサンスと宗教改革がヨーロッパ世界に及ぼした変化を理解している。(知技)</li> </ul>
45	<b>3 ヨーロッパ世界の拡大</b> (p.104～105) 大航海時代 アメリカ大陸の植民地化 オランダの台頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカ大陸とアフリカ大陸の様子から、ヨーロッパの世界進出の影響を理解する。</li> <li>主にアジアとイスラム商人との関係から、ヨーロッパ人が海外に進出した理由を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸に及ぼした影響を理解している。(知技)</li> <li>●ヨーロッパ人がアジアを目指した理由を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
46	<b>4 ヨーロッパ人との出会い</b> (p.106～107) 鉄砲の伝来 キリスト教の伝来と広まり 南蛮貿易とキリシタン大名	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載資料から、ヨーロッパ人が日本にもたらしたものを理解する。</li> <li>掲載資料から、鉄砲とキリスト教が日本の社会に広まった様子を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパの様々な文物やキリスト教が、日本社会に広まっていく様子を理解している。(知技)</li> </ul>
47 48	<b>5 織田信長・豊臣秀吉による統一事業</b> (p.108～109) 織田信長の統一事業 豊臣秀吉の全国統一 宣教師の追放	<ul style="list-style-type: none"> <li>織田信長と豊臣秀吉によって全国が統一されたことを理解する。</li> <li>バテレン追放令から、豊臣秀吉のキリスト教対策を理解する。</li> <li>織田信長の政策から、商工業が発達した理由を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●織田信長と豊臣秀吉による統一事業の過程を理解している。(知技)</li> <li>●豊臣秀吉がキリスト教の信仰自体は禁止せず、貿易を続けていたことを理解している。(知技)</li> <li>●織田信長の政策が商業を発達させたことを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
49	<b>6 兵農分離と秀吉の対外政策</b> (p.110～111) 太閤検地と刀狩 朝鮮侵略	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝鮮侵略のあらましと、その後の日本に与えた影響を理解する。</li> <li>太閤検地と刀狩によって、社会がどのように変化したかを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料から朝鮮侵略の過程とその影響を理解している。(知技)</li> <li>●兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
50	<b>7 桃山文化</b> (p.112～113) 天下統一と豪壮な文化 芸能と生活文化の展開 南蛮文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子とその影響を理解する。</li> <li>桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し、その特色が生まれた理由を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解している。(知技)</li> <li>●桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

	<b>■探究のステップ</b> (p.145)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 戦乱の世が終わった理由を理解し、ヨーロッパ人との出会いとその影響を関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 戦乱の世が終わった理由を理解している。(知技)</li> <li>○ 戦乱の世が終わった理由について、ヨーロッパ人との出会いとその影響を関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>● 世界の動きと統一事業について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
--	----------------------------	---	--

**2節 江戸幕府の成立と対外政策 (配当5時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。</li> <li>● 統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>● 江戸幕府の成立と対外関係について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。	B (3) ア (イ)
	<b>思考・判断・表現</b>	
	○統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	B (3) イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	●江戸幕府の成立と対外関係について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
51	<b>1 江戸幕府の成立と支配の仕組み</b> (p.114～115) 江戸幕府の成立 幕藩体制の確立 大名・朝廷の統制	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 江戸時代の政治制度のあらましと、幕府による大名や朝廷の統制について、大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。</li> </ul>	●「主な大名の配置」などの資料から大名統制の方法を読み取って理解している。(知技)
52	<b>2 さまざまな身分と暮らし</b> (p.116～117) 武士と町人 村と百姓 差別された人々	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。</li> <li>● 百姓や町人とは別に、差別された身分の人々がいたことについて理解する。</li> </ul>	●「身分別の人口の割合」「都市と農村の支配の仕組み」などから、江戸時代の身分とそれぞれの職分や自治の様子を理解している。(知技)
53	<b>3 貿易の振興から鎖国へ</b> (p.118～119) 積極的な貿易政策 禁教と貿易統制の強化 島原・天草一揆と鎖国	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と、その影響を理解する。</li> <li>● 江戸幕府の対外政策の変化について年表などから捉え、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と、それが人々の生活に与えた影響を理解している。(知技)</li> <li>● 江戸幕府が17世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を、宗教の統制、外交と貿易の統制、大名の統制などから考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

54	<b>4 鎖国下の対外関係</b> (p.120～121) 四つの窓口 オランダ・中国との貿易 朝鮮との交際	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎でのオランダ・中国との貿易について理解する。</li> <li>朝鮮との交際について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オランダ・中国とは正式な国交はなく、長崎において貿易が行われていたことを理解している。(知技)</li> <li>●朝鮮とは正式な国交があり、通信使の派遣や倭館での貿易などが行われていたことを理解している。(知技)</li> </ul>
	<b>5 琉球王国やアイヌ民族との関係</b> (p.122～123) 琉球の支配 アイヌ民族との交易	<ul style="list-style-type: none"> <li>琉球との関係について理解する。</li> <li>アイヌの人々との関係を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●琉球が薩摩藩に支配されるとともに、中国と朝貢貿易を行っていたことを理解している。(知技)</li> <li>●アイヌの人々の生活や松前藩との交易の様子について理解している。(知技)</li> </ul>
55	<b>■探究のステップ</b> (p.145)	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代が約260年続いた理由を理解し、幕府の諸政策の目的と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○江戸時代が約260年続いた理由を理解している。(知技)</li> <li>○江戸時代が約260年続いた理由を、幕府の諸政策の目的と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

**3節 産業の発達と幕府政治の動き (配当9時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。</li> <li>社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。</li> <li>産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。</li> <li>○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</li> </ul>	B (3) ア (ウ) (エ)
	<b>思考・判断・表現</b>	B (3)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
56	<b>1 農業や諸産業の発展</b> (p.124～125) 農業の発展 諸産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地に特産物が見られるようになった理由を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各地に特産物が見られるようになった理由を、農業や諸産業の発展と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
57	<b>2 都市の繁栄と交通路の整備</b> (p.126～127) 三都の繁栄 街道の整備 海運の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通路が整備され、三都をはじめとする都市が発展したことを理解する。</li> <li>江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業や交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。(知技)</li> <li>●江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
58	<b>3 幕府政治の安定と元禄文化</b> (p.128～129) 綱吉の政治と正徳の治 元禄文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳川綱吉の政治の特色を理解する。</li> <li>文学や浮世絵の作品などから、この時期の文化の特色を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徳川綱吉の政治が、それまでの武断政治から文治政治へと転換したことを理解している。(知技)</li> <li>●元禄文化が上方の町人を中心とする文化であることを理解している。(知技)</li> </ul>
59	<b>4 享保の改革と社会の変化</b> (p.130～131) 享保の改革 産業の変化と工業の発達 農村の変化と百姓一揆	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳川吉宗の改革の様子を理解する。</li> <li>幕藩体制の基盤がゆらぎ、百姓一揆が起こったことを理解する。</li> <li>社会の変化と百姓一揆・打ちこわしの発生件数との関係を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徳川吉宗の改革について、そのあらましを理解している。(知技)</li> <li>●社会の変化と百姓一揆・打ちこわしの発生件数との関係を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
60	<b>5 田沼意次の政治と寛政の改革</b> (p.132～133) 田沼意次の時代 寛政の改革 ロシアの接近	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアの接近に対する幕府の外交政策を、間宮林蔵らの北方探検を通して理解する。</li> <li>田沼意次と松平定信の政治について、その背景を踏まえて、政治の特色を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●蝦夷地や樺太などの北方探検が、ロシアの南下に対するものであったことを理解している。(知技)</li> <li>●田沼意次と松平定信の政治について、その背景を踏まえて財政政策の違いなどを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
61	<b>6 新しい学問と化政文化</b> (p.134～135) 国学と蘭学 化政文化 教育の広がり	<ul style="list-style-type: none"> <li>寺子屋や藩校が各地に設けられたことを通して、教育への関心が高まってきたことを理解する。</li> <li>国学と蘭学の発達や化政文化の特色について、社会の動きとの関連を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●化政文化が江戸の町人を中心とする文化であることを理解している。(知技)</li> <li>●藩校と寺子屋の広がりから、全国に教育施設が設けられていったことを理解している。(知技)</li> <li>●国学と蘭学が社会に与えた影響を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
62	<b>7 外国船の出現と天保の改革</b> (p.136～137) 異国船打払令と大塩の乱 天保の改革 雄藩の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国船の接近とそれに対する幕府の対応について理解する。</li> <li>大塩の乱、天保の改革について、幕府政治にどのような変化が見られたのかを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外国船の接近とそれに対する幕府の対応について、幕府に新たな課題が生じたことを理解している。(知技)</li> <li>●大塩平八郎が乱を起こした理由や、天保の改革の内容について、幕府政治が行き詰まっていったことを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

	<p><b>■探究のステップ</b> (p.145)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕府が改革を迫られた背景を理解し、社会の変化と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幕府が改革を迫られた背景を理解している。(知技)</li> <li>○幕府が改革を迫られた背景を、社会の変化と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
-	<p><b>[資料から発見！]浮世絵から近世の人々の生活や意識をとらえよう</b> (p.138～139)</p> <p>浮世絵とは？ 浮世絵にえがかれたものは？ 西洋画にも影響をあたえた？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浮世絵から江戸時代の人々の関心や生活の様子について理解する。</li> <li>浮世絵とヨーロッパ文化との関係について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸時代の人々が相撲や歌舞伎などの娯楽に強い関心をもっていたこと、人々の地震に対する意識、江戸に様々な職業の人が暮らしていたことなど、当時の庶民の様子を理解している。(知技)</li> <li>●歌川広重とゴッホの絵から、浮世絵が印象派の画家に大きな影響を与えたことを理解している。(知技)</li> </ul>
-	<p><b>[もっと歴史]アイヌ文化とその継承</b> (p.140～141)</p> <p>アイヌ文化の成立 アイヌ文化の展開 アイヌ文化を継承する動き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイヌ文化の成立や展開、その継承を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイヌの人々と自然との関係、北方との交易の様子、文化の継承の様子などについて理解している。(知技)</li> </ul>
63 64	<p><b>■基礎・基本のまとめ 近世の学習をふり返ろう</b> (p.144～145)</p> <p><b>■まとめの活動 近世で最も活躍した身分はどれだろう</b> (p.146～147)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最も活躍した身分を考えることを通して、近世の日本を大観し、時代の特色を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近世の主な人物や歴史的事象とそれらの関連を捉え、近世が安定した理由を理解している。(知技)</li> <li>○近世がどのように安定したかを多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表)</li> <li>○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) *B(3)イ(イ)</li> <li>○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

**第5章 開国と近代日本の歩み (配当27時間)**

◆評価規準の例 (章全体)

指導目標	知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。</li> <li>開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</li> <li>○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>自由民権運動, 大日本帝国憲法の制定, 日清・日露戦争, 条約改正などを基に, 立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに, 我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。</li> <li>我が国の産業革命, この時期の国民生活の変化, 学問・教育・科学・芸術の発展などを基に, 我が国で近代産業が発展し, 近代文化が形成されたことを理解させる。</li> <li>工業化の進展と政治や社会の変化, 明治政府の諸改革の目的, 議会政治や外交の展開, 近代化がもたらした文化への影響などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き, 明治維新と近代国家の形成, 議会政治の始まりと国際社会との関わり, 近代産業の発展と近代文化の形成について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>近代(前半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>近代(前半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由民権運動, 大日本帝国憲法の制定, 日清・日露戦争, 条約改正などを基に, 立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに, 我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。</li> <li>我が国の産業革命, この時期の国民生活の変化, 学問・教育・科学・芸術の発展などを基に, 我が国で近代産業が発展し, 近代文化が形成されたことを理解している。</li> </ul>
	<b>思考・判断・表現</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業化の進展と政治や社会の変化, 明治政府の諸改革の目的, 議会政治や外交の展開, 近代化がもたらした文化への影響などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き, 明治維新と近代国家の形成, 議会政治の始まりと国際社会との関わり, 近代産業の発展と近代文化の形成について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> <li>近代(前半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> </ul>
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代(前半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</li> </ul>

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
65	<b>■導入の活動 近代化とはどのようなことか考えよう</b> (p.148~149)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年表にある事柄や人物, 文化財のイラストから, 小学校で学習した内容を振り返る。</li> <li>写真や年表, 絵画などの資料から, この時代に起こった社会の変化や近代化のイメージを持ち, 前の時代との違いを予想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み解きや比較から, この時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。(思判表)</li> <li>近代化によって日本の国家や社会はどのように変化したかという探究課題に対して, 見通しを持って学習に取り組もうとしている。(態度)</li> </ul>

## 1節 欧米における近代化の進展 (配当5時間)

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米諸国における産業革命や市民革命, アジア諸国の動きなどを基に, 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。</li> <li>工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 欧米における近代社会の成立について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米諸国における産業革命や市民革命, アジア諸国の動きなどを基に, 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</li> </ul>	C (1) ア (ア)
	<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 欧米における近代社会の成立について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米における近代社会の成立について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧米における近代社会の成立について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
66	<b>1 イギリスとアメリカの革命</b> (p.150～151) 近世ヨーロッパの動向 イギリス革命 アメリカの独立革命	<ul style="list-style-type: none"> <li>イギリスとアメリカの政治体制の変化を、きっかけになった出来事に着目して理解する。</li> <li>イギリスとアメリカで近代民主政治への動きが生まれたことを理解し、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イギリスとアメリカが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。(知技)</li> <li>● イギリスとアメリカの政治の変化と現代の政治とのつながりを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
67	<b>2 フランス革命</b> (p.152～153) フランス革命の始まり ナポレオンの時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>フランスの政治体制の変化を、きっかけになった出来事に着目して理解する。</li> <li>フランスで近代民主政治への動きが生まれたことを理解し、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フランスが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。(知技)</li> <li>● フランスの政治の変化と現代の政治とのつながりを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
68	<b>3 ヨーロッパにおける国民意識の高まり</b> (p.154～155) 「国民」の登場 ヨーロッパと中南米諸国の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>19世紀のヨーロッパと中南米諸国の動向を理解する。</li> <li>徴兵制や義務教育、政治参加を通じて、国民としての一体感が高まったことを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヨーロッパで国民国家が形成されていく過程と中南米諸国の独立を理解している。(知技)</li> <li>● フランス革命の影響とヨーロッパにおける国民意識の高まりを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
69	<b>4 ロシアの拡大とアメリカの発展</b> (p.156～157) ロシアの拡大 アメリカ合衆国の発展 南北戦争	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解する。</li> <li>ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で、さまざまな問題を抱えていたことを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解している。(知技)</li> <li>● アメリカ合衆国の発展の一方で、先住民の強制移住や黒人への人種差別などの問題があったことを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
70	<b>5 産業革命と資本主義</b> (p.158～159) 産業革命 資本主義の発展と社会問題 社会主義の広がり	<ul style="list-style-type: none"> <li>イギリスから産業革命と資本主義社会が広がっていく過程を理解する。</li> <li>産業革命を経て、経済の仕組みが大きく変化し、労働問題や社会問題が発生したことを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業革命による変化と資本主義社会の成立が、ヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解している。(知技)</li> <li>● 産業革命が欧米諸国に与えた影響を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<b>■探究のステップ</b> (p.203)	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を理解し、市民革命や産業革命と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を理解している。(知技)</li> <li>○ 欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を、市民革命や産業革命と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>● 欧米における近代社会の成立について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

2節 欧米の進出と日本の開国 (配当4時間)

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。</li> <li>開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。</li> <li>工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アジア諸国の動き、明治維新について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>アジア諸国の動き、明治維新について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</li> <li>○開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</li> </ul>	C (1) ア (ア) (イ)
	<b>思考・判断・表現</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アジア諸国の動き、明治維新について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	C (1) イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジア諸国の動き、明治維新について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
71	<b>1 欧米のアジア侵略</b> (p.160～161) 欧米とアジアの力関係 アヘン戦争と中国の半植民地化 インドと東南アジアの植民地	<ul style="list-style-type: none"> <li>イギリスを中心とする欧米諸国が、工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出した過程を理解する。</li> <li>欧米諸国のアジア進出とそれに対するアジア諸国の動きを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イギリスのアジア進出によって起こったアヘン戦争やインドの大反乱を理解している。(知技)</li> <li>●欧米諸国のアジア進出の理由と背景や、アジア諸国の対応と変化を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
72	<b>2 開国と不平等条約</b> (p.162～163) ペリーの来航 不平等な通商条約	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペリー来航によって、幕府が対外政策を転換し、開国したことを理解する。</li> <li>ペリー来航から日米修好通商条約の締結までの過程、不平等な点について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の開国のきっかけや、日米修好通商条約の内容を理解している。(知技)</li> <li>●江戸幕府が開国した理由や、欧米諸国と結んだ外交関係を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
73	<b>3 開国後の政治と経済</b> (p.164～165) 幕府への批判の高まり 開港の経済的影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕府への批判の高まり、貿易開始による物価の上昇を理解する。</li> <li>開国によって、日本の政治や経済はどのように変化したかを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●尊王攘夷運動や桜田門外の変、開国後の貿易の様子を理解している。(知技)</li> <li>●開国による政治的及び社会的な影響を、人々の生活との関わりから考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
74	<b>4 江戸幕府の滅亡</b> (p.166～167) 薩摩藩と長州藩の動き 世直しへの期待 大政奉還と王政復古	<ul style="list-style-type: none"> <li>倒幕への動きや幕府の対応、外国の動きから、江戸幕府の滅亡までの経緯を理解する。</li> <li>開国による政治的及び社会的な影響が、明治維新への動きを生み出したことを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大政奉還が行われ、江戸幕府が滅ぶまでに起こった主な出来事を理解している。(知技)</li> <li>●薩摩藩や長州藩、会津藩の動きと幕府政治の推移、開国による人々の生活の変化を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>



	<p><b>■探究のステップ</b> (p.203)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府が減んだ理由を理解し、欧米諸国の進出や開国、その後の幕府の対応と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○江戸幕府が減んだ理由を理解している。(知技)</li> <li>○江戸幕府が減んだ理由を、欧米諸国の進出や開国、その後の幕府の対応と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●アジア諸国の動き、明治維新について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
--	------------------------------------	--	---

**3節 明治維新 (配当9時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。</li> <li>自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</li> <li>○自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。</li> </ul>	<p>C (1) ア (イ) (ウ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>思考・判断・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<p>C (1) イ (ア)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
75	<p><b>1 新政府の成立</b> (p.168～169)</p> <p>明治維新 藩から県へ 身分制度の廃止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。</li> <li>明治維新による社会の変化、特に身分制度の廃止の意義と問題点について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新政府が成立し、近代国家の基礎が整えられていったことを理解している。(知技)</li> <li>●明治維新によって、幕藩体制や身分制度がどのように変化したかを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
76 77	<p><b>2 明治維新の三大改革</b> (p.170～171)</p> <p>三大改革 学制の公布 徴兵令 地租改正</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新政府が行った学制・兵制・税制の改革の内容を理解する。</li> <li>明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学制・兵制・税制の改革の内容を理解している。(知技)</li> <li>●新政府が行った学制・兵制・税制の改革の影響を、江戸時代の制度と比較しながら考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

<p>78</p>	<p><b>3 富国強兵と文明開化</b> (p.172～173)</p> <p>富国強兵 殖産興業政策 文明開化 新しい思想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の内容を理解する。</li> <li>● 文明開化の風潮について、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近代的な産業発展のために政府が進めた富国強兵・殖産興業政策の内容を理解している。(知技)</li> <li>● 文明開化の風潮について、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを、江戸時代と比較しながら考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p>-</p>	<p><b>[資料から発見！]錦絵から文明開化の様子をとらえよう</b> (p.174～175)</p> <p>明治時代の錦絵とは？ 当時の銀座の状況は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明治時代の錦絵の特色を理解する。</li> <li>● 錦絵の資料から、文明開化の頃の社会の様子を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 錦絵に描かれた、開国後に日本に入ってきた文物や習慣を理解している。(知技)</li> <li>● 資料の読み取りから、文明開化の頃の社会の様子を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p>79</p>	<p><b>4 近代的な国際関係</b> (p.176～177)</p> <p>ぶつかる二つの国際関係 岩倉使節団 清や朝鮮との関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近代的な国際関係の下で進められた、明治初期の外交政策を理解する。</li> <li>● 明治初期の外交政策について、岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新政府が行った岩倉使節団の派遣や、清や朝鮮への外交政策を理解している。(知技)</li> <li>● 新政府が行った外交政策について、欧米諸国やアジア諸国との関係から考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p>80</p>	<p><b>5 国境と領土の確定</b> (p.178～179)</p> <p>南北の国境の確定 北海道の開拓とアイヌの人々 沖縄県の設置と琉球の人々</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 領土の確定について、近代的な国際関係の下で、新政府が行った外交政策を理解する。</li> <li>● 北海道の開拓と産業の関係、沖縄県成立の過程での中国との関係について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国境と領土の確定について、北海道や沖縄などに対して新政府が行った政策を理解している。(知技)</li> <li>● 蝦夷地と琉球王国が日本に組み込まれる過程について考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p>81</p>	<p><b>6 領土をめぐる問題の背景</b> (p.180～181)</p> <p>歴史的に見る島々の領有 あしかばねの舞台・竹島 日本人の生活の舞台・北方領土 かつお節製造の舞台・尖閣諸島</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 竹島、北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。</li> <li>● 竹島、北方領土、尖閣諸島について、我が国の固有の領土として人々の生活の舞台となった背景を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 竹島、北方領土、尖閣諸島の領有の歴史的な経緯と日本政府の見解を理解している。(知技)</li> <li>● これらの島の領有に関する各国の主張も踏まえ、我が国の固有の領土である背景を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p>82</p>	<p><b>7 自由民権運動の高まり</b> (p.182～183)</p> <p>自由民権運動と士族の反乱 高まる自由民権運動 国会の開設をめぐる対立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から士族の反乱が起こった過程を理解する。</li> <li>● 憲法草案などの資料から、自由民権運動がどのような社会の実現を求めていたのかを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自由民権運動のおこりや政党の結成、激化事件に至る過程を理解している。(知技)</li> <li>● 自由民権運動から憲法制定に至るまでの時期について、民権側と政府側の立場からそれぞれの主張を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p>83</p>	<p><b>8 立憲制国家の成立</b> (p.184～185)</p> <p>憲法の準備 憲法の発布 帝国議会の開設</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 政府が主導した憲法の制定過程、大日本帝国憲法の内容の特徴を理解する。</li> <li>● 議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 憲法の制定過程とその内容の特徴、選挙制度などを理解している。(知技)</li> <li>● 大日本帝国憲法の制定過程とその内容の特色を踏まえ、その特色と現代とのつながりを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<p><b>■探究のステップ</b> (p.203)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本がほかのアジア諸国に先駆けて近代化した理由を理解し、欧米諸国との関係と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本が明治維新を通じて近代化した理由を理解している。(知技)</li> <li>○ 日本がほかのアジア諸国に先駆けて、近代化に成功した理由を、欧米諸国との関係と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明治維新と近代国家の形成，議会政治の始まりと国際社会との関わりについて，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。（態度）</li> </ul>
--	--	--

**4節 日清・日露戦争と近代産業（配当8時間）**

◆ 評価規準の例（節全体）

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日清・日露戦争，条約改正などを基に，我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。</li> <li>● 我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる。</li> <li>● 議会政治や外交の展開，近代化がもたらした文化への影響などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，議会政治の始まりと国際社会との関わり，近代産業の発展と近代文化の形成について，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。</li> <li>● 議会政治の始まりと国際社会との関わり，近代産業の発展と近代文化の形成について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日清・日露戦争，条約改正などを基に，我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。</li> <li>○ 我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解している。</li> </ul>	C (1) ア (ウ) (エ)
	<b>思考・判断・表現</b>	C (1)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 議会政治や外交の展開，近代化がもたらした文化への影響などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，議会政治の始まりと国際社会との関わり，近代産業の発展と近代文化の形成について，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</li> </ul>	イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 議会政治の始まりと国際社会との関わり，近代産業の発展と近代文化の形成について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</li> </ul>

◆ 評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
84	<b>1 欧米列強の侵略と条約改正</b> (p.186～187) 列強と帝国主義 条約改正の実現 東アジアの情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧米諸国の植民地獲得競争，日清戦争に至る背景としての東アジアの情勢を理解する。</li> <li>● 条約改正に至る過程や，欧米諸国と対等な外交関係が結ばれるまでの動きを考察し，表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧米諸国の植民地獲得競争，日清戦争に至る背景としての東アジアの情勢を理解している。（<b>知技</b>）</li> <li>● 条約改正について，長年にわたる課題として取り組まれたことを，背景を踏まえて考察し，表現している。（<b>思判表</b>）</li> </ul>
85	<b>2 日清戦争</b> (p.188～189) 日清戦争 三国干渉と加速する中国侵略 日清戦争後の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日清戦争に至る動き，戦争のあらましと国内外の対応を理解する。</li> <li>● 下関条約の内容を理解し，戦後のアジアの国際関係や国内情勢について考察し，表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日清戦争に至る動き，戦争のあらましと国内外の対応を理解している。（<b>知技</b>）</li> <li>● 日清戦争の日本や清への影響を考察し，表現している。（<b>思判表</b>）</li> </ul>
86	<b>3 日露戦争</b> (p.190～191) 義和団事件 日露戦争 日露戦争後の日本と国際社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロシアやイギリスの動向と日本との関係に着目し，日露戦争に至る動き，戦争のあらましと国内外の対応を理解する。</li> <li>● 日露戦争について，戦争の規模や国内外の反応を考察し，表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日露戦争に至る動き，戦争のあらましと国内外の対応を理解している。（<b>知技</b>）</li> <li>● 日露戦争の日本や世界への影響について，日清戦争と比較しながら考察し，表現している。（<b>思判表</b>）</li> </ul>

87	<p><b>4 韓国と中国</b> (p.192～193)</p> <p>韓国の植民地化 満鉄の設立 中華民国の成立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国の植民地化と中華民国が建国される過程を理解する。</li> <li>韓国の植民地化への民衆の抵抗, 中国国内の民族的自覚の高まりについて考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●韓国の植民地化と中華民国が建国される過程を理解している。(知技)</li> <li>●韓国や中国の国内での動き, 政治の変化について考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
88	<p><b>5 産業革命の進展</b> (p.194～195)</p> <p>産業と資本主義の発展 社会問題の発生 地主と小作人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治時代の産業と資本主義の発展を理解する。</li> <li>産業革命によって, 都市や農山漁村の生活に変化が生じたことを考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近代産業が発展して資本主義の基礎が固まったことを理解している。(知技)</li> <li>●産業と資本主義の発展によって, 日本で発生した社会問題を考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
89	<p><b>6 近代文化の形成</b> (p.196～197)</p> <p>日本の美と欧米の美 新しい文章 学校教育の普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代文化の形成を, 学問や科学の分野で国際的な業績が生まれたことや教育の普及から理解する。</li> <li>明治時代の文化の特色を考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近代文化が形成されたことを, 学問・教育・科学・芸術の発展を通して理解している。(知技)</li> <li>●近代文化は, 伝統的な文化の上に欧米文化を受容して形成されたことを考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
	<p><b>■探究のステップ</b> (p.203)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が中国やロシアと戦争をすることになった理由を理解し, 欧米諸国のアジア進出と関連付けて考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本が中国やロシアと戦争をすることになった理由を理解している。(知技)</li> <li>○日本が中国やロシアと戦争をすることになった理由を, 欧米諸国のアジア進出と関連付けて考察し, 表現している。(思判表)</li> <li>●議会政治の始まりと国際社会との関わり, 近代産業の発展と近代文化の形成について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
-	<p><b>[もっと歴史]メディアの発達 日本を変えた</b> (p.198～199)</p> <p>電信・電話の導入 新聞・雑誌の誕生 映画・ラジオと大衆社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電信・電話, 新聞・雑誌, 映画・ラジオの始まりと役割を理解する。</li> <li>マスメディアが, 現在の私たちの生活にどのように関わっているか考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電信・電話, 新聞・雑誌, 映画・ラジオの始まりと役割を理解している。(知技)</li> <li>●資料の読み取りから, 現代につながるマスメディアや情報環境を考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
90 91	<p><b>■基礎・基本のまとめ 近代(前半)の学習をふり返ろう</b> (p.202～203)</p> <p><b>■まとめの活動 日本と世界との結び付きを考えよう</b> (p.204～205)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と世界との結び付きを考えることを通して, 近代(前半)の日本と世界を大観し, 時代の特色を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明治時代の主な歴史的事象を理解している。(知技)</li> <li>○日本と世界との結び付きから明治時代の特色を考察し, ウェビングで表現している。(思判表)</li> <li>○近代(前半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。(思判表) *C(1)イ(イ)</li> <li>○近代(前半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

第6章 二度の世界大戦と日本 (配当19時間)

◆評価規準の例 (章全体)

指導目標	知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦の背景とその影響, 民族運動の高まりと国際協調の動き, 我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に, 第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと, 大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。</li> <li>経済の世界的な混乱と社会問題の発生, 昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き, 中国などアジア諸国との関係, 欧米諸国の動き, 戦時下の国民の生活などを基に, 軍部の台頭から戦争までの経過と, 大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。</li> <li>経済の変化の政治への影響, 戦争に向かう時期の社会や生活の変化, 世界の動きと我が国との関連などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現, 第二次世界大戦と人類への惨禍について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>近代(後半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>近代(後半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦の背景とその影響, 民族運動の高まりと国際協調の動き, 我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に, 第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと, 大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。</li> <li>経済の世界的な混乱と社会問題の発生, 昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き, 中国などアジア諸国との関係, 欧米諸国の動き, 戦時下の国民の生活などを基に, 軍部の台頭から戦争までの経過と, 大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。</li> </ul>
	思考・判断・表現
	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済の変化の政治への影響, 戦争に向かう時期の社会や生活の変化, 世界の動きと我が国との関連などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現, 第二次世界大戦と人類への惨禍について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> <li>近代(後半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代(後半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</li> </ul>

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
92	<p><b>■導入の活動 戦争が続いた時代の暮らしを考えよう</b> (p.206～207)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年表にある事柄や人物, 文化財のイラストから, 小学校で学習した内容を振り返る。</li> <li>写真や年表などの資料から, この時代のイメージを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料の読み解きや比較から, この時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。(思判表)</li> <li>●日本はどのようにして戦争に突入していったのかという探究課題に対して, 見通しを持って学習に取り組もうとしている。(態度)</li> </ul>

**1節 第一次世界大戦と日本 (配当4時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第一次世界大戦の背景とその影響, 民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に, 第一次世界大戦前後の国際情勢と, 大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。</li> <li>● 戦争に向かう時期の社会や生活の変化, 世界の動きと我が国との関連などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 第一次世界大戦前後の国際情勢について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>● 第一次世界大戦前後の国際情勢について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>○ 第一次世界大戦の背景とその影響, 民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に, 第一次世界大戦前後の国際情勢と, 大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。</p>	<p>C (1) ア (オ)</p>	
	思考・判断・表現		<p>○ 戦争に向かう時期の社会や生活の変化, 世界の動きと我が国との関連などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 第一次世界大戦前後の国際情勢について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</p>
	主体的に学習に取り組む態度		<p>● 第一次世界大戦前後の国際情勢について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>
	<p>● 第一次世界大戦前後の国際情勢について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>		<p>C (1) イ (ア)</p>

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
93	<p><b>1 第一次世界大戦</b> (p.208～209) ヨーロッパ諸国の対立 第一次世界大戦</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第一次世界大戦を, 起こった背景, 経過, 被害などを通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第一次世界大戦の背景・経過・結果や影響から, 戦争の概要を理解している。(知技)</li> </ul>
94	<p><b>2 ロシア革命</b> (p.210～211) ロシア革命 シベリア出兵とソ連の成立 独裁と計画経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロシア革命の背景と経過, その後のロシアの歩みについて理解する。</li> <li>● ロシア革命について, 当時の状況を考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロシア革命の背景と経過, 計画経済について理解している。(知技)</li> <li>● ロシア革命に対する日本の動きを理解し, ロシア革命の様子を考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
95	<p><b>3 国際協調の高まり</b> (p.212～213) ベルサイユ条約と国際連盟 国際協調の時代 民主主義の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際連盟の特色を, 世界平和と国際協調の面から理解する。</li> <li>● 大戦後の欧米諸国の国際関係の変化を, 大戦の反省などに着目して考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際連盟の抱えた課題や問題点や, ヨーロッパの変化を理解している。(知技)</li> <li>● 大戦後の国際協調や民主主義の動きを, 大戦の規模や犠牲者の数などと関連付けて考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
96	<p><b>4 アジアの民族運動</b> (p.214～215) 第一次世界大戦と日本 中国の反帝国主義運動 朝鮮の独立運動 インドの民族運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アジアにおける民族運動が高まった理由について, 第一次世界大戦との関係に着目して考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アジアにおける民族運動が高まった理由を, ベルサイユ条約の内容と関連付けて考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
	<p><b>■ 探究のステップ</b> (p.247)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第一次世界大戦の原因と, 世界や日本への影響を理解し, 国民生活への影響などと関連付けて考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第一次世界大戦の原因と, 世界や日本への影響を理解している。(知技)</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を、国民生活への影響などと関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
--	--	--

**2節 大正デモクラシーの時代 (配当3時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>●我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きを理解させる。</li> <li>●世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>●第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	○我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きを理解している。	C (1) ア (オ)
	<b>思考・判断・表現</b>	
	○世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	C (1) イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	●第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
97	<b>1 大正デモクラシーと政党内閣の成立</b> (p.216～217) 第一次護憲運動 大戦景気と米騒動 本格的な政党内閣の成立 大正デモクラシーの思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大正デモクラシーについて、護憲運動や普通選挙の実現を通して理解する。</li> <li>●政党内閣やデモクラシーの思想について、現代と比較しながら考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大正デモクラシーについて、思想や動きの概要を理解している。(知技)</li> <li>●大正デモクラシーの思想を現代と比較して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
98	<b>2 広がる社会運動と男子普通選挙の実現</b> (p.218～219) 社会運動の広がり 差別からの解放を求めて 女性による運動 男子普通選挙の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デモクラシーの高まりなどの影響を受け、多くの民衆運動が盛んになったことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●普通選挙の実現などについて、運動の概要を理解している。(知技)</li> </ul>
99	<b>3 新しい文化と生活</b> (p.220～221) 教育の広がり メディアの発達と文化の大衆化 新しい思想や文化 都市の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大正期の教育と文化について理解する。</li> <li>●市民生活の変化を通して、文化の大衆化などを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関東大震災の概要と、大正期の教育と文化の特徴を理解している。(知技)</li> <li>●市民生活の変化を通して、文化の大衆化などを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

	<p><b>■探究のステップ</b> (p.247)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正時代に日本で民主主義の風潮が高まった理由を理解し、明治時代からの国民への負担や国際情勢と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大正時代に日本で民主主義の風潮が高まった理由を理解している。(知技)</li> <li>○大正時代に日本で民主主義の風潮が高まった理由を、明治時代からの国民への負担や国際情勢と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
--	------------------------------------	--	--

**3節 世界恐慌と日本の中国侵略 (配当5時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>経済の世界的な混乱と社会的問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。</li> <li>経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済の世界的な混乱と社会的問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。</li> </ul>	C (1) ア (カ)
	<b>思考・判断・表現</b>	C
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	C (1) イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>		

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
100	<p><b>1 世界恐慌とブロック経済</b> (p.222～223)</p> <p>世界恐慌の始まり ニューディール ブロック経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界恐慌の概要と、欧米諸国の対応について理解する。</li> <li>世界恐慌が発生した理由を、資本主義経済の仕組みに着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界恐慌の概要と欧米諸国の対応を各国別に理解している。(知技)</li> <li>●世界恐慌の原因を資本主義経済の仕組みと関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
101	<p><b>2 欧米の情勢とファシズム</b> (p.224～225)</p> <p>ファシズム イタリアのファシズム ドイツのファシズム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イタリアとドイツで台頭してきたファシズムの実態について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファシズムの台頭の様子について理解している。(知技)</li> </ul>



102	<b>3 昭和恐慌と政党内閣の危機</b> (p.226～227) 政党政治の進展と行きづまり 昭和恐慌 難航する外交	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の政治の流れを、世界の動きと関連させながら理解する。</li> <li>世界恐慌の日本への影響と、政党政治の行き詰まりについて、資料から考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界の動きと関連させながら、日本の政治の流れを理解している。(知技)</li> <li>●政党内閣が信頼を失っていった理由を、考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
103	<b>4 満州事変と軍部の台頭</b> (p.228～229) 満州事変と日本の国際的な孤立 軍部の発言力の高まり 経済の回復と重化学工業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>満州事変から国際連盟脱退までの経緯を理解する。</li> <li>国民の困窮や軍部の主張などについて、当時の日本の状況を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●満州事変から国際連盟脱退までの経緯を理解している。(知技)</li> <li>●軍部の主張や国民の生活を捉え、当時の状況から、日本の進路について考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<b>5 日中戦争と戦時体制</b> (p.230～231) 日中戦争の開始と長期化 強まる戦時体制 皇民化政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の中国侵略の実態とそれに対する中国民衆の動きや国内の状況を、資料を通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日中戦争の経過や、国民生活が統制された状況を理解している。(知技)</li> </ul>
104	<b>■探究のステップ</b> (p.247)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が日中戦争に突入した理由を理解し、国際的な経済状況と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本が日中戦争に向かった理由を理解している。(知技)</li> <li>○日本が日中戦争に向かった理由を、国際的な経済状況と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

**4節 第二次世界大戦と日本 (配当6時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。</li> </ul>	C (1) ア (カ)
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	C (1) イ (ア)
<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
105	<b>1 第二次世界大戦の始まり</b> (p.232～233) 大戦の開始 戦争の拡大 ドイツの占領政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパで戦争が起こり、拡大していった経緯を理解する。</li> <li>ドイツやイタリアと同盟を結ぶなど、日本が取った行動について、国際的な視野で考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパで起こった戦争の様子を地図や写真から読み取り、原因や経過を理解している。(知技)</li> <li>●日独伊三国同盟を結んだ日本の行動について、国際的な視野を踏まえて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
106	<b>2 太平洋戦争の開始</b> (p.234～235) 日本の南進 日米交渉の決裂 太平洋戦争の始まり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本が太平洋戦争に向かった理由を、国力の差や資源の分布、占領した地域に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本が太平洋戦争に向かった理由について、日米の国力差や資源の量、占領した地域と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
107	<b>3 戦時下の人々</b> (p.236～237) 国民の動員 植民地と占領地 総力戦と犠牲者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●戦争の長期化とともに、国民生活が統制されていく様子を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本国内のみでなく、植民地や占領地における状況を理解している。(知技)</li> </ul>
108	<b>4 戦争の終結</b> (p.238～239) イタリアとドイツの降伏 空襲と沖縄戦 日本の降伏	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦から原爆投下などを通して、戦争終結までの経緯を理解する。</li> <li>●戦争の被害の実態を通して、国民の苦しみについて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦、原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。(知技)</li> <li>●戦争と国民への影響について考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<b>■探究のステップ</b> (p.247)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を理解し、大戦下の国民生活と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を理解している。(知技)</li> <li>○第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を、大戦下の国民生活と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
-	<b>[もっと歴史]「解放令」から水平社へ</b> (p.240～241) 「解放令」(「賤称廃止令」とその後 部落改善運動の始まり 水平社創立と山田孝野次郎 島崎藤村と「破戒」)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「解放令」が出された後も、差別に対する運動が起こったことを理解する。</li> <li>●生活の貧困化を克服するために、「部落改善運動」が展開され、これに対する反発が、後の水平社創立につながることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「解放令」が出された後の、差別された人々の状況を理解している。(知技)</li> <li>●「部落改善運動」の内容について理解している。(知技)</li> </ul>
-	<b>[もっと歴史]オリンピック・パラリンピックと日本</b> (p.242～243) 近代オリンピックの成立 日本のオリンピックへの参加 日本で開催されたオリンピック・パラリンピック	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近代オリンピック・パラリンピックの成立過程を理解する。</li> <li>●日本のオリンピック参加や、日本での開催を、当時の社会や経済を背景に考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近代オリンピック・パラリンピックの発展の過程を調べ、成立の過程を理解している。(知技)</li> <li>●オリンピック・パラリンピックと日本との関わりを、オリンピックへの参加や開催国の立場などから考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

109 110	<p>■基礎・基本のまとめ 近代(後半)の学習をふり返ろう (p.246～247)</p> <p>■まとめの活動 戦争へのターニングポイントは何だろう (p.248～249)</p>	<p>・戦争へのターニングポイントは何だったかを考えることを通して、近代(後半)の日本と世界を大観し、時代の特色を捉える。</p>	<p>○日本がどのように戦争に向かっていったかについて理解している。(知技)</p> <p>○主に大正時代から昭和時代の特色を他の時代と比較したり、現代と関連付けたりして考察し、表現している。(思判表)</p> <p>○近代(後半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) *C(1)イ(イ)</p> <p>○近代(後半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</p>
------------	---	---	---

**第7章 現代の日本と私たち (配当14時間)**

◆評価規準の例 (章全体)

指導目標	知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 冷戦, 我が国の民主化と再建の過程, 国際社会への復帰などを基に, 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。</li> <li>• 高度経済成長, 国際社会との関わり, 冷戦の終結などを基に, 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。</li> <li>• 諸改革の展開と国際社会の変化, 政治の展開と国民生活の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 日本の民主化と冷戦下の国際社会, 日本の経済の発展とグローバル化する世界について, 現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>• 現代の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>• 現代の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> <li>• これまでの学習を踏まえ, 歴史と私たちとのつながり, 現在と未来の日本や世界の在り方について, 課題意識をもって多面的・多角的に考察, 構想し, 表現させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷戦, 我が国の民主化と再建の過程, 国際社会への復帰などを基に, 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</li> <li>○高度経済成長, 国際社会との関わり, 冷戦の終結などを基に, 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。</li> </ul>
	思考・判断・表現
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○諸改革の展開と国際社会の変化, 政治の展開と国民生活の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 日本の民主化と冷戦下の国際社会, 日本の経済の発展とグローバル化する世界について, 現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> <li>○現代の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> <li>○これまでの学習を踏まえ, 歴史と私たちとのつながり, 現在と未来の日本や世界の在り方について, 課題意識をもって多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</li> </ul>

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
111	<b>■導入の活動 戦後日本の歩みを考えよう</b> (p.250～251)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年表にある事柄や人物、文化財のイラストから、小学校で学習した内容を振り返る。</li> <li>写真や年表などの資料から、この時代のイメージを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(知技)</li> <li>戦後の日本はどのように発展してきたかという探究課題に対して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。(態度)</li> </ul>

**1節 戦後日本の出発 (配当2時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*	
<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の民主化と再建の過程などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。</li> <li>諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	○我が国の民主化と再建の過程などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。	C (2) ア (ア)	
	<b>思考・判断・表現</b>		
	○諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。		C (2) イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>		
	●日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
112	<b>1 占領下の日本</b> (p.252～253) 敗戦後の日本 国民の苦難 占領の始まりと非軍事化	<ul style="list-style-type: none"> <li>敗戦後の日本がどのような状況であったか、また、どのように占領されたのかを考え、表現する。</li> <li>敗戦後に国民たちが苦難の生活を送る中、日本が占領下に置かれ、改革が始まったことを、闇市やマッカーサーと昭和天皇の資料などを通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>終戦後の日本国民が苦難の生活を送る中で、GHQが非軍事化などの新しい日本につながる占領政策を進めたことを理解している。(知技)</li> <li>終戦後の日本の様子やGHQによる占領政策を、国民生活に着目して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
113	<b>2 民主化と日本国憲法</b> (p.254～255) 民主化 日本国憲法の制定 政党政治と社会運動の復活	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい憲法の制定で、民主的な国家が建設されたことを理解する。</li> <li>新しい憲法の制定による日本の変化を、大日本帝国憲法との比較を基に考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい憲法の制定で民主的な国家が建設されたことを理解している。(知技)</li> <li>新しい憲法の制定による日本の変化を、大日本帝国憲法との比較から考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<b>■探究のステップ</b> (p.279)	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の諸改革によって、民主的な国家が建設されたことを理解し、戦前と比較して考察し、表現する。</li> </ul>	○GHQの占領政策の影響や戦前の反省から、民主的な国家が建設されたことを理解している。(知技)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本国憲法の制定などによって、国民主権、人権の保障などの面で民主的な国家になったことを考察し、表現している。(思判表)</li> <li>●日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
--	--	--

**2節 冷戦と日本の発展 (配当5時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*
<ul style="list-style-type: none"> <li>●冷戦, 国際社会への復帰などを基に, 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。</li> <li>●高度経済成長, 国際社会との関わりなどを基に, 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。</li> <li>●諸改革の展開と国際社会の変化, 政治の展開と国民生活の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 冷戦下の国際社会, 日本の経済の発展について, 現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>●冷戦下の国際社会, 日本の経済の発展について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷戦, 国際社会への復帰などを基に, 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</li> <li>○高度経済成長, 国際社会との関わりなどを基に, 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。</li> </ul>	C (2) ア (ア) (イ)
	<b>思考・判断・表現</b>	C (2)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○諸改革の展開と国際社会の変化, 政治の展開と国民生活の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 冷戦下の国際社会, 日本の経済の発展について, 現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> </ul>	イ (ア)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冷戦下の国際社会, 日本の経済の発展について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</li> </ul>	

◆評価規準の例 (各時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
114	<b>1 冷戦の開始と植民地の解放 (p.256~257)</b> 国際連合と冷戦の始まり 新中国の成立と朝鮮戦争 植民地支配の終わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冷戦によって新たな国際体制が誕生したことを理解する。</li> <li>●冷戦による国際体制が成立した理由を, アメリカとソ連の動向に着目して考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資本主義と共産主義が対立する中で冷戦が発生し, 国家の分裂や, 植民地支配の終結など, 新たな国際体制が生まれたことを理解している。(知技)</li> <li>●冷戦という新たな国際体制の成立と影響を, アメリカとソ連の動向を基に, 考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>
115	<b>2 独立の回復と55年体制 (p.258~259)</b> 占領政策の転換 平和条約と安保条約 自民党長期政権と安保条約改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本がどのような背景で国際社会に復帰したかを理解する。</li> <li>●日本がこの時期に国際社会に復帰できた理由を, 国際情勢と関連付けて考察し, 表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冷戦によってアメリカの占領方針が転換し, 日本が資本主義国の一員として国際社会に復帰し, アメリカとの関係を重視した安定政権が生まれたことを理解している。(知技)</li> <li>●冷戦が激しくなる中, 資本主義陣営の強化を目指したアメリカが日本の独立を認めたことを考察し, 表現している。(思判表)</li> </ul>

116	<b>3 緊張緩和と日本外交</b> (p.260～261) 緊張緩和の進展 広がる日本の外交関係 沖縄の日本復帰	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後日本外交の変化を、世界と日本の動きの資料などを通して理解する。</li> <li>日本が中国など共産主義国とも外交関係を作れた理由を、世界と日本の動きの資料を基に考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の日本外交や沖縄の復帰が、緊張緩和の中で、東側諸国との関係構築の上で進んだことを理解している。(知技)</li> <li>日本の外交関係の変化を、緊張緩和と関連付けながら考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
117	<b>4 日本の高度経済成長</b> (p.262～263) 高度経済成長 国民生活の変化と公害 経済大国日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が高度経済成長を遂げ、国民生活が変化したことを理解する。</li> <li>経済成長による日本の変化を、GDPの変化や公害の様子などを基に国内外の面から考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済成長と技術の向上によって、国民が豊かな生活を送れるようになった一方で、公害等の問題が発生したことを理解している。(知技)</li> <li>日本の経済成長が国内外で功績と軋轢を生んでいることを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
118	<b>5 マスメディアと現代の文化</b> (p.264～265) 戦後の文化とマスメディア テレビと高度経済成長期の文化 漫画・アニメと文学の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本のマスメディアが発達し、国民生活に浸透したことを理解する。</li> <li>マスメディアによる文化の普及と国民生活との関係を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスメディアが社会の発展とともに変化し、重要な文化となったことを理解している。(知技)</li> <li>テレビ放送やアニメなどの技術が進歩することで、マスメディアが国民生活に深く関わるようになったことを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<b>■探究のステップ</b> (p.279)	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦下の日本が経済成長を遂げた要因を理解し、世界情勢と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦下の日本が経済成長できたことを理解している。(知技)</li> <li>冷戦下で日本が経済成長することができた理由について、世界情勢と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> <li>冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>

**3節 新たな時代の日本と世界 (配当6時間)**

◆評価規準の例 (節全体)

\*は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	*	
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。</li> <li>国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。</li> </ul>	C (2) ア (1)	
	<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	C (2) イ (7)
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
119	<b>1 冷戦後の国際社会</b> (p.266～267) 冷戦の終結 国際協調への動き 相次ぐ地域紛争	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦終結と、その後の国際協調や地域紛争の動きについて理解する。</li> <li>冷戦終結後の世界の課題がどのような特徴をもっているのか国家の関わり方に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冷戦が終結し、国際協調による地域統合が進む一方で、国家を超えた紛争が多発していることを理解している。(知技)</li> <li>●冷戦終結後の世界で、国家の枠組みを超えた問題が発生していることに着目して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
120	<b>2 冷戦後の日本</b> (p.268～269) 冷戦後の日本外交 55年体制の終わり バブル経済崩壊後の経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦後の日本の課題について理解する。</li> <li>冷戦終結後の日本の課題を、その原因や現在の問題と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冷戦後の日本の課題が、対外的には他国との歴史的関係の中から、国内的には経済的な好景気の反動により発生していることを理解している。(知技)</li> <li>●冷戦後の日本の課題の原因が過去にあり、現在でも続いていることを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
121	<b>3 持続可能な社会に向けて</b> (p.270～271) 進展するグローバル化 日本社会が直面する課題 持続可能な社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の日本の課題を捉え、SDGsと関連させて、どのように解決すべきかを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在の日本の課題をSDGsと関連させて、どのように解決すべきかを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
	<b>■探究のステップ</b> (p.279)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代日本の課題について理解し、その解決に向けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代日本の課題を理解し、解決に向けて考察し、表現している。(知技)</li> <li>●日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</li> </ul>
-	<b>[もっと歴史]日本のエネルギーのこれまで</b> (p.272～273) 明治維新からエネルギー革命へ 石油危機と原子力 地球温暖化と再生可能エネルギー 常磐炭鉱と 常磐ハワイアンセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代のエネルギーの利用と課題や、持続可能な社会に向けた、これからのエネルギー使用について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在の日本のエネルギー利用の特色を基に、持続可能な社会を創るために必要なことを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
-	<b>[もっと歴史]震災の記憶を語りつぐ</b> (p.274～275) 「稲むらの火」 「此処より下に家を建てるな」 東日本大震災の記憶を伝える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地に残る震災に関する伝承には、どのような意味があるかを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各地に残る震災に関する伝承は、同じ災害が起り、再び命が失われないうために、先人が残したものであるという共通点を理解している。(知技)</li> </ul>
122	<b>■基礎・基本のまとめ 現代の学習をふり返ろう</b> (p.278～279)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の日本を形作ったものは何かを考えることを通して、現代の日本と世界を大観し、時代の特色を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戦後の日本がどのように発展してきたか理解している。(知技)</li> <li>○戦後の日本の発展について、世界の情勢や国際社会における日本の位置付けと関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
123	<b>■まとめの活動 現在の日本を形作ったものは何だろう</b> (p.280～281)		

			<p>○現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) *C(2)イ(イ)</p> <p>○現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)</p>
124	<p>■歴史のまとめ 歴史に学び、未来へと生かそう (p.282～283)</p>	<p>• これからの世界や日本の課題を理解し、どのように解決すべきかを考察、構想し、表現する。</p>	<p>○これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。(思判表) *C(2)イ(ウ)</p>